

令和6年8月13日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホーム敬愛苑

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

会議開催日…令和6年7月25日

開催場所…ポートピア松江ビル4F会議室

出席者

| | | | |
|---------|----|-------------|----|
| 事業所 | 3人 | 利用者 | 0人 |
| 利用者家族 | 1人 | 地域代表者 | 2人 |
| 松江市職員 | 0人 | 包括支援センター | 2人 |
| 知見を有する者 | 0人 | その他(防災センター) | 0人 |

会議次第

1. 挨拶

・西浦常務取締役より挨拶。

運営推進会議では、日ごろの活動内容やサービスについて紹介させていただきまして、みなさまからのご意見をいただき、サービスの向上に努めさせていただきます。

2. 出席者自己紹介

3. 議事概要

(1) 現在のサービス提供状況の説明

(2) 行事報告・日々の活動報告

行事 5月 由志園外出
誕生会

6月 端午の節句(笹まき)
誕生会

研修 (社内) マナー研修

口腔ケアについて

コロナ感染症対策

・ガウンテクニックについて

・5/18 陽性者発生後のふりかえり

(社外) 身体に負担をかけない移乗、移動技術と介護事故防止対策研修
実践者研修

プライバシー保護と法令遵守の研修

応急手当再講習研修

(3) その他、意見交換

行事報告・日々の活動報告

敬愛苑 (資料写真を確認していただき、内容を説明。)

感染症対策のため、現在も集団での会食などは再開していないが、この度利用者様参加型の外出レクを実施することができた。家族様と計画し、由志

園をまわることができた。家族様にも利用者様にも喜んでいただけた。

6月の行事としては、今年も笹巻づくりを行うことができた。こちらも、利用者様、ご家族様にボランティアとして参加していただき、団子をこねたり、笹を巻いたりしてみんなで協力して作ることができた。写真をみていただけるとわかるが、利用者様にも大変よろこんでいただけた。団子ということもあり、誤嚥や窒息にはとくに注意して行事を行った。

グループホームについてのお話（※別紙研修書類参照）

| | |
|------|--|
| ご家族 | 重度化した場合は、どうなるのか |
| 敬愛苑 | 酸素療法が必要な場合や、胃ろう造設された場合など、現在敬愛苑では対応できないケースもあるが、グループホームであっても近年は看取りの対応まで行う施設が増えてきている。今回配布した資料は、あくまでグループホームというものが作られた当初の前提としての条件を紹介している。 |
| ご家族 | どのような基準で看取りとなるのか。 |
| 敬愛苑 | 家族の希望があり、主治医が苑で看取り可能と判断した場合。 看取りは、本人様の状態をみて、主治医が判断し看取り開始となる。 |
| 地域 A | 生活保護法指定とあるが、松江市にも指定を受けている施設はあるか。 |
| 敬愛苑 | 松江市にもある。グループホーム以外にも、サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームも、指定を受けていれば生活保護受給者の利用可能。（敬愛苑も指定を受けている。） |

意見交換

| | |
|------|--|
| ご家族 | 新聞やニュースなどで介護の実情報道をみていると、将来的には介護切り捨てと思えるような暗いニュースばかり目についてしまう。さまざまな加算などをとっておられるようだが、実質的には現在の物価高に追いつけるほど職員の収入が上がらないときいており、気にかかっている。 |
| 敬愛苑 | お気遣いまことに痛み入る。将来的な人員不足、介護負担等の軽減を目的として、前回の運営推進会議で、介護ロボット導入についての報告をさせていただいたが、経過報告をさせていただきたい。 先般、介護ロボットを導入した施設向けのセミナーが行われた。政府としては強く介護ロボットを推奨している。当苑でもロボット導入によって、夜勤者の介護負担軽減につながっていると報告を受けている。 ロボットというと想像し難いが、電動ベッドや、介護記録の補助、入浴補助器具なども、いわゆる介護ロボットに含まれる。 IT を利用したロボットの問題点としては、通信エラーや、アプリケーションの不具合が報告されている。そのあたりを改善していくことが、今後の課題だととらえている。 |
| 地域 B | ネオスケアは、利用者のプライバシーと紙一重なところがあると思う。そのあたりの問題はクリアしているのか。 |
| 敬愛苑 | 開発の段階で、表示される画像の調整を繰り返し、これならば、と許可を得た装置となっている。プライバシーの問題と葛藤しながら開発された経緯がある。職員が見る画像は、ぼんやりとしたシルエット、抽象画のようなも |

ので、床が緑、ベッドがピンクと、大まかに色分けしてあるだけで、できるだけプライバシーに配慮されたものとなっている。また、もちろん家族が希望されない場合は利用することができない。

地域 B 配慮されていることがわかった。アゼリアでも介護ロボットを見せてもらったことがある。長時間利用者様に動きがみられない場合などにエラー音が鳴り、知らせてくれる仕組みがあった。

話が変わるが、敬愛苑では看護師は介護業務に介入するのか。他の施設では看護師が介護業務に携わり、結果重労働となりやめていくケースが増えている報告を受けている。敬愛苑ではどのように働かされているか。

敬愛苑 介護施設では、看護師が介護業務をしているところは多い。

敬愛苑では、一部業務に入ることはあっても、嚥下状態の観察、皮膚状態や、排便状況の確認など、基本的には介護業務は介護士が行うようにしている。看護師にはリハビリテーションに関係する業務として携わってもらっている。

看護師不在のグループホームの場合、外部の看護サービスを利用することになるが、敬愛苑では常勤の看護師に、普段の生活の中から細やかに利用者様の状態を見てもらっている。便秘、食事状況、皮膚状態と、小さなことでも毎日寄り添って対応することができている。看護師が実際に毎日利用者様の様子をみているので、具体的な内容を主治医へ報告することができるのも強みだと思っている。

現在、主治医の往診は4回。Aユニット、Bユニットと交互に往診に来ていただいている（福田医師主治医の利用者様のみ）。一週間の間にも、利用者様には様々な変化が起きてくるが、主治医は熱心に細やかにみてくださり、家族様も職員も安心して仕事ができる。

地域 A 地域に開いた施設であると感じている。災害時の避難場所としても開放しており、いざという時の安心につながっている。

ご家族 新聞の投書欄にて、松江の中心地にギャンブルを行う施設をつくるのは何事か、という内容のものが掲載されたことがある。子供の教育上よくないと反対の声があった。しかし、自分の家族が利用することになるまで、災害時避難場所として利用できることは知らなかった。地元でも知らない人が多い。地元の人に知ってもらえたらいいと思っている。

地域 B 当時ポートピア反対を訴えていた人たちほど、実際どのような形で地域に貢献しているか知らない。ポートピアは警備がきちんとしており、未成年は一人で入ることができない。

災害時は避難所でもあるし、ボートの売り上げの一部は松江市にいき、それが地域の人たちのために利用されている。実態を分かっていない人たちが反対していたということもある。地域の方で火災の被害にあわれた方が、その日の内から苑に泊まることができ、入浴や食事も提供され、とても助かったというケースもある。ありがたい施設だと思っている。新聞に投書された方にも知ってもらいたいが、連絡することができないのが悔やまれる。

包括 A 施設周辺の訪問にいくと、地域の人から敬愛苑の名前をきく。職員が地域の人に関わろうと意識を持たないと広まらないものだから、努力されている

のだと感じている。

包括 B 資料の写真を見て、入居者の方々も安心して暮らしておられる様子がみてとれた。

閉会

※事業所確認欄

| | |
|--|-----------------------|
| <input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。 | <input type="radio"/> |
| <input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。 | <input type="radio"/> |